

高畠高生の活躍

山形新聞にある「若者の声」に、本校 1 年次生の鈴木結愛さんの文章が掲載されました。「食品ロス」をいかに防ぐか、自分の考えを調べたことをもとの的確にまとめた内容になっています。

若者の声 高畠高

食品ロスみんなで理解

■ 1 年 鈴木結愛

私の家では、期限が切れてしまい食べられなかった食品を捨ててしまうことが多く、食品ロスが世界にどんな影響を与えているのか気になったので調べてみました。

世界では9人に1人が栄養不足なのにに対し、日本では国民1人分になると、毎日お茶わん1杯分の食料を捨てているとありました。

原因として、家庭からの食品ロスが多いことが分かりました。食べ残しや期限切れで手つかずのまま廃棄されてしまう食品、皮のむき過ぎなどがあるそうです。さらに食品ロスは環境にも悪影響を与えていることも分かりました。食品を処理する時に発生する二酸化炭素が地球温暖化につながるのです。食品ロス削減は温暖化対策になります。

日本ではフードバンク活動や、食品ロス削減に対する教育プログラムなどさまざまな対策を行っているそうです。そういった活動を知らない人の方も多いのではないかと考えました。個人の日々の何げない行動が食品ロスにつながっているということを、たくさん

人が理解し、削減につなげていくことが大切だと思います。そして、今すぐにでも取り組める「買すぎない」「作りすぎない」「注文しすぎない」を大切に、食品ロスの問題を身近なこととして考え、向き合っていきたいと思います。

令和7年1月21日(火)「山形新聞」から